

## < 3月例会報告 >

### フルート・アンダンテ コンサート

会長 田辺征一

フルート・アンダンテは25年ほど前に結成されたフルート4本とピアノのアンサンブルグループで、現在のメンバーは9名。演奏を通して地域に根差したボランティア活動をされておられる。私にとって、今回が初めての演奏会でしたが、神戸学園都市クラブではこれまでに何度もお世話になっているとのこと。



事前に聞いていた演奏曲目は10曲でしたが、終わってみれば、全15曲途中休みなし、約1時間のハードコンサートではなかったかと心配しました。アンダンテの皆様お疲れさま、そして、ありがとうございました。

私は、二十歳代に全くの自己流でフルートを吹いていたことがあります。しかし、バイク転倒時に前歯を折ってからきれいな音が出なくなり、いつしか吹かなくなりました。そんな訳で、フルート演奏には親しみと愛着があり、今回の演奏会を大変楽しみにしていました。



次回演奏会に向けて思いついた課題を以下にあげてみました。

1. 曲の紹介、作曲家の紹介、エピソードの紹介、過去の演奏での失敗談などを紹介していただくと、もっと面白くなるのでは？
2. 彼女たちもずっと演奏していると疲れてくるので、途中で、ワイズ仲間の得意な楽器演奏や歌の共演があってもよいでしょう。
3. 会の後半に2曲ほど全員で合唱できれば、会も盛り上がるのではないのでしょうか。当日配るチラシに演奏曲目や合唱の歌詞を載せる。

いずれにしても、入念な事前打ち合わせが必要と思われます。

最後に、本演奏会は写真入りで西日本区理事通信4月号に取り上げられましたので紹介します。

「神戸西部地域で活躍している神戸学園都市クラブでは

地域奉仕と演奏者支援を兼ねて、年に一度のホールコンサートが開かれています。今回は、フルート・アンダンテによる親しみのある音楽満載でした。地域おこしにつながることを願っています。」



## < 4月事務例会報告 >

書記 野呂 隆



- ・会議名：4月第二(事務)例会
- ・日時：2018年4月5日(木曜) 19:00~21:00
- ・場 所：西神戸YMCA
- ・出席者：佐伯、杉本、館、達、田辺、中村、野呂、藤井(信)、藤井(久)

### 1. 報告事項

- (1) 3月第1例会：フルート・アンダンテ演奏会  
3月15日(木曜) 19:00~  
参加者：メン10名、メネット1名、  
ゲスト・アンダンテ5名、一般来場客43名、  
ビジター・大野理事夫妻2名
- (2) 西日本区負担金、献金の支払い済
- (3) YMCAスピーチコンテスト2月28日(水)  
開催協賛に対する礼状を頂いた。
- (4) 西日本区大会実行委員会 3月26日(月曜)  
参加者：杉本、中村
- (5) 京都グローバル25周年記念例会  
3月3日(土曜)  
参加者：杉本、田辺、野呂、藤井(久)
- (6) 名古屋クラブ70周年記念例会  
3月4日(日曜)  
参加者：杉本、藤井(久)
- (7) 神戸・神戸ポート合同例会  
3月8日(木曜)18:30~、於 神戸YMCA  
NPO法人ワット(細見ワイズ)  
参加者：杉本、館、田辺、長坂
- (8) 次期主査・会長研修会 3/10(土)~11(日)

出席者：田辺、藤井(久)

(9) 宝塚クラブ 30 周年記念例会 3 月 21 日(水・祝)

参加者：杉本、田辺

(10) 第 2 回六甲部評議会 3 月 24 日(土)

参加者：杉本、佐伯、館、達、田辺、長坂、  
中村、野呂、藤井(久)

(11) 西日本区大会用ユニホームの配布

## 2. 協議事項

(1) ロースター原稿

次期役割担当については、田辺会長、杉本書記、  
佐伯会計以下、各会員の分担を決定した。

(2) 神戸ポートクラブ創立 30 周年記念例会

4 月 28 日(土曜) 13:30~

第 1 部：神戸YMCA三宮会館チャペル、

第 2 部：グリーンヒルホテル神戸

参加予定者：杉本、佐伯、館、田辺、中村、  
野呂、藤井(久)

(3) 第 21 回西日本区大会

登録者：阿部、杉本、佐伯、田辺、中村、野呂、  
藤井(久)

代議員会：6 月 9 日(土曜)

議案・協議事項提出締切日：4 月 21 日(土曜)

エクスカッション・物品販売：申し込み締め切り

5 月 10 日(木曜)

(4) 今後の例会：

- ・4 月 19 日(木曜)「生け花について」 鯖尻佳子  
ワイズ(宝塚クラブ)
- ・5 月 17 日(木曜)「ショートショート」各自がクラ  
ブの活動や、趣味のことなど自由なテーマで話し  
をして、お互いを理解し親睦を深める。
- ・6 月 21 日(木曜)「今期の評価と次期の計画」
- ・7 月 19 日(木曜)「私のワイズ人生」三浦克文ワ  
イズ(岡山クラブ)

## 3. その他報告・協議事項

(1) バルマーク、インクカートリッジ回収箱の設置  
(学園都市YMCA便りに掲載を手配した)。

(2) 東日本大震災復興支援野球観戦券購入  
4/14(土曜)の甲子園球場でのYMCA協賛試合  
阪神×ヤクルト戦に、YMCAが東日本大震災お  
よび熊本地震の被災者を招待するので、チャーテ  
ィー協力として希望者が購入した。

(3) 東京武蔵野多摩クラブ 2 月例会卓話者 関 啓  
子(三鷹高次脳機能障害研究所所長)  
DBCの東京武蔵野多摩クラブ例会で関研究所

長が講演されたが、同氏は神戸大卒で同大学の客  
員教授でもあるので、できれば卓話をお願いでき  
ないか打診することとした。

## 4. 今後の西日本区・六甲部行事予定

◎「きらりと輝くアート展」参加者募集 4/28(土)

10:00~ 神戸YMCA ゆとり作業所参加

◎ 広島・西宮・近江八幡クラブ 70 周年記念合同例  
会

5/12(土) 11:30~15:30 ¥10,000

参加予定者：杉本、館、田辺、中村、野呂、  
藤井(久)

◎ 第 21 回西日本区大会 6/9~10(土、日) A

NAクラウンプラザホテル神戸

## < 檜木善隆さんを偲ぶ >

会計 佐伯一丸



檜木さんは昨年の秋に体調を崩して  
入院されたところまでは聞いていまし  
たが、突然亡くなられたとの訃報に接  
し、ただただ驚くばかりでした。

昨年の 5 月には小豆島の余島に檜木さんのヨット  
と一緒にクルージングさせてもらって元気な姿を見  
ているだけに、こんなに急に亡くなられるとは、初め  
は信じられなかったくらいでした。死因はすい臓がん  
とのことで、発見から死亡までが短かったようです。

通夜は 3 月 29 日に、葬儀・告別式は 3 月 30 日に、  
神戸市須磨区の白川平安祭典会館でしめやかに行わ  
れました。



檜木さんは 1952 年生まれで、大学を卒業して(株)大  
蔵に入社。在職中の 1995 年に(株)ヒノキを設立。大蔵  
を定年退職後は、(株)ヒノキに専念されていました。

家は古くからの農家で稲作、野菜、果物も栽培して

おられました。もともと、山、海、動物、花などアウトドアが大好きな方でした。

定年後の第二の人生は、これまで経験したことのないこと、経験できなかったこと等の未知の領域に挑戦したいと、丹下元陽ワイズの勧めで2016年7月に我がクラブに入会されました。

ワイズのことなら何でもできる頼もしい方でした。特に餅つきのことならお任せ。つき手、返し手の他、蒸籠などの後始末も手際よくこなしてくれました。

昨年の5月には、檜木さん所有の32フィート・15人乗りのヨットに5人が乗り、播州・赤穂から小豆島の余島までクルージングを楽しませて貰いました。途中、家島諸島の坊勢島に寄り、檜木船長行きつけの「乱菊すし」店で、名物「鯖のしゃぶしゃぶ」を食べました。ビールと酒で美味しくいただきました。

余島に向かう途中で、ヨットの操舵もさせてくれました。余島のYMCA キャンプ場には18時頃到着。

その夜は持ち込みの酒とつまみで宴会。

昨年の9月には「ヨットは楽し」と題して、メンバースピーチをしていただきました。娘さんと二人でヨットレースで優勝した時の話は、自慢話の一つだと嬉しそうに喋ってくれました。

性格が温和で人のお世話をするのが大好きだった

方で、我がクラブでは次の会長を期待されていましたが、残念で仕方ありません。地元でも、自治会の役員をされたり、近じかお寺の総代も期待されていたようです。

我がクラブとしても本当に惜しい人をなくしてしまいました。残念で仕方ありません。

ご冥福を心からお祈り申し上げます。



### < 今月の聖句 >

#### 真理はあなたたちを自由にする。

イエスは、ご自分を信じたユダヤ人たちに言われた。「私の言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。」

(ヨハネによる福音書8章 31~32)

国立国会図書館の東京本館内の壁面に、ギリシャ語で「真理がわれらを自由にする」という言葉が掲げられている。

イエスはユダヤ人たちに「私の言葉に人生をゆだねて歩むなら、真理（神の恵み）によってあなたたちは、あなたたちを覆っている束縛から解放され、本当の自由を得る」、と説いた。

しかし、イエスを信じたはずのユダヤ人たちは手のひらを返すように反発した。「私たちはアブラハム（ユダヤの始祖）の子孫だ。今まで誰の奴隷にもなったことはない。どうして『あなたたちは自由になる』などと言うのか」。当時、ローマ帝国の属州だったユダヤの人々は、ローマ政府によって名目上の自由と独立を与えられていたので、「なぜ今さら自由などと言うのか」とイエスの言葉に反発したのだ。

トマス・ア・ケンピス（中世の神秘思想家）はその著書『キリストにならいて』の中で、「我々の思考や感覚は、しばしば我々をあざむき、我々が真理を見ることはわずかである。真理そのものによってあるがままに教えられている人は幸いである」と書いている。

～ 齋藤 孝 著 「声に出して読みたい新約聖書」 草思社より ～